イタリア

更新日2022年10月21日

項目		内容
コロナ感染対策		
1	国の方針	マスク着用 ~~1．5月1日以降、以下のケースではFFP2マスク着用が義務付けられる。~~ ~~ア 以下の交通機関の利用~~ ~~・州間の船舶、フェリー~~ ~~・州間の鉄道（インテルシティー、夜行インテルシティー、高速鉄道）~~ ~~・複数の州を結ぶ行程を継続的又は定期的に運航する旅客輸送バス~~ ~~・運転手付きのレンタルバス~~ ~~・地域又は州の公共交通機関~~ ~~・小学校、中学校、高校の生徒専用の交通機関~~ 2．医療施設、介護施設、ホスピス等の従事者、利用者、訪問者にはマスク着用が義務付けられる。 3．以下の者はマスク着用の義務はない。 ・6歳未満の子供 ・マスクの着用に適さない疾患や障害を持つ者。また、障害者と意思疎通をする上でマスクの着用が不適当な者。 ・スポーツ活動中の者 グリーンパス ・COVID-19グリーン証明書の提示義務は、介護施設や入院病棟等に訪問者としてアクセスするに際して一部残っているが、原則撤廃。
2	ホテル	・宿泊施設は、感染リスクを予防あるいは軽減するために採用されたソーシャルディスタンス、基準及びガイドラインに従い、オープン。
3	レストラン	・同席できる人数の制限が解除。但し対人距離1メートルの規制は継続。 ・営業時間の規制解除。
4	娯楽施設（ショッピングモール他）	・ソーシャルディスタンス確保した形で活動可能。
5	観光施設	・美術館、博物館や文化施設は、オープン。ただし、密をさけ1メートルの対人距離を確保し営業。
6	空港から都市部への移動	・列車、タクシーはソーシャルディスタンス確保のため乗車定員を少なく設定し運行している。
7	公共交通機関	・ソーシャルディスタンス確保の呼びかけが行われている。 ~~・以下の交通機関の利用の際はマスク着用義務がある。~~ ~~ー州間の船舶州間の列車、高速鉄道~~ ~~ーインターシティ、インターシティ・ノッテ~~ ~~ー2つの州以上をつなぐ定期・継続的運行バス~~ ~~ー運転手付きチャーター・レンタルバス~~ ~~ー地域、州の公共交通機関~~
8	イベント	・ソーシャルディスタンス確保しつつ実施可能
9	その他	・~~飛行機を除く公共交通機関ならびに~~医療・介護施設以外のマスク着用義務は解除されたが、屋内や混み合う環境ではマスクの着用を強く推奨。 ・抗原検査ないしはPCR検査で陽性結果となった者については，常に無症状であった場合、または最初は有症状であったがその後少なくとも2日間は無症状となった場合、5日間の後に隔離を終了。ただし、隔離終了時に抗原検査か分子検査で陰性結果を得ることを条件とする。 ・陽性が長く続く場合、検査の実施にかかわらず、最初に陽性となってから14日間で隔離を終了できる。
企業動向		・ソーシャルディスタンス確保した形で活動可能。
日常生活における消費関連		・インターネットショッピング及びライダーによるデリバリーサービスが好調。

教育	・2021－2022年度、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校の教育活動を対面で行う。 大学では、対面での教育活動を優先する。 ・幼稚園、小学校、中学校、高校においては、4月1日から2021－2022年年度の終了まで、濃厚接触者の健康観察制度を適用する。また、クラスに陽性者が少なくとも4人いる場合、最後の陽性者との接触から10日間、教職員及び6歳以上の生徒はFFP2マスクを着用の上、全ての生徒に対面の活動が継続される。
医療	・通常通り ・マスク着用義務あり。 ・介護施設、社会医療施設、ホスピス等の訪問者、及び病院施設の入院病棟への訪問者は、 スーパーグリーンパス所持者に限られる。
日本外務省感染症危険情報（外部リンク：外務省））	https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/country_count.html
感染者数状況（外部リンク：WHO）	https://covid19.who.int/

※更新情報は赤字で記載されています。
情報元は「たびレジ」のメール配信ならびに在外支店となります。
現地最新の情報を保証するものではありません。